

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

枝幸圏域は枝幸町の1町で構成され、漁業協同組合は1漁協（枝幸漁業協同組合）がある。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当圏域の主要漁業ははたて桁びき網漁業、さけ定置網漁業、けがにかご漁業、たこ漁業である。令和元年における漁獲量はホタテガイが37,391トン、サケ・マス類が2,417トン、タコ類が758トン、ケガニが88トンとなっている。

主要魚種であるホタテガイは稚貝の育成・放流を行うことにより、つくり育てる漁業を実施している。また、サケ・マスは北海道と民間団体との協力体制のもとで人工ふ化放流が行われている。

③ 水産物の流通・加工の状況

当圏域内で水揚げされたホタテガイは、枝幸港に集約された後、圏域内の加工場で干し貝柱や玉冷に加工され、道内はもとより中国・アメリカ方面へ流通している。また、当圏域内の一部海域ではホタテガイの対EU輸出生産海域の指定を受けており、EU方面への輸出にも取り組んでいる。

その他の漁種については、各港で水揚げされた後、枝幸港に集約され圏域内外に出荷される。

④ 養殖業の状況

当圏域のホタテガイ養殖業は、地撒き漁場を4区画造成し漁場ごとに4年に1度小型底びき網漁業を行う4輪採制と呼ばれる特徴ある操業形態を採用している。種苗については、圏域内で生産されたもののほか、圏域外から購入した稚貝を使用している。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

枝幸漁業協同組合の組合員数は263人である。当圏域の組合員数は減少傾向で

はあるが、後継者育成に力をいれており今後とも新規着業者の参入が見込まれる。

⑥ 水産業の発展のための取組

EU 等へのホタテガイの輸出を促進するため、圏域内の水産加工業者に対して海外 HACCP 導入に向けた研修を行う等、地域全体で衛生管理体制による高品質な製品づくりに取組んでいる。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

ほたて桁びき網漁業では年ごとに漁場に近い漁港を陸揚げ基地港としているが、基地港となった漁港は外来船と地元船の輻輳により係留施設が不足する。また、航路及び泊地の静穏が悪く、漁船の航行や係留作業、漁獲物の陸揚げ等に支障を来しており、これら施設の整備が求められている。

水産物の輸出促進のために衛生管理の向上を図る必要があり、屋根付き岸壁の整備等が求められている。

漁港施設の老朽化が進行しており、機能保全計画に基づいた補修が必要である。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

当圏域内の各漁港において現在のところ、統合や廃止、再編等の予定はない。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由；圏域内には港湾 1 港、漁港 2 港（7 地区）があり、拠点港から消費地や加工場等へ出荷している。
② 圏域範囲	枝幸町	設定理由；流通拠点漁港への水産物の集約が及ぶ範囲である枝幸町の範囲を設定した。
③ 流通拠点漁港	第 2 種オホーツク枝幸漁港	設定理由；漁港統合により一定の港勢を有し、ほたて桁びき網漁業における基地漁港として流通拠点の役割を担っている。今後、高度衛生管理（L2 以上）を導入し、耐震岸壁を整備するなど、圏域内での流通拠点としての機能を整備していく。 災害時の漁港利用者の避難対策

	第 2 種オホーツク 枝幸北漁港	<p>について今後検討していく予定である。</p> <p>衛生管理施設の整備により、商品の高品質化を目指しており、水産物のブランド化にも取り組んでいる。</p> <p>国内有数の水揚げを誇るケガニについては、「枝幸かに祭り」でケガニの早食い競争が行われるなど、地域水産業の振興上重要な役割を担っている。</p> <p>設定理由；漁港統合により一定の港勢を有し、ほたて桁びき網漁業における基地漁港として流通拠点の役割を担っている。今後、高度衛生管理（L2 以上）を導入し、耐震岸壁を整備するなど、圏域内での流通拠点としての機能を整備していく。</p> <p>災害時の漁港利用者の避難対策について今後検討していく予定である。</p> <p>衛生管理施設の整備により、商品の高品質化を目指しており、水産物のブランド化にも取り組んでいる。</p> <p>国内有数の水揚げを誇るケガニについては、「枝幸かに祭り」でケガニの早食い競争が行われるなど、地域水産業の振興上重要な役割を担っている。</p>
④ 生産拠点漁港	該当なし	設定理由；
⑤ 輸出拠点漁港	第 2 種オホーツク 枝幸漁港 第 2 種オホーツク	<p>設定理由；流通拠点漁港であり、ホタテガイの生産量が多く、輸出を行っている。</p> <p>高度衛生管理（L2 以上）を導入し、輸出の拡大を推進する予定である。</p> <p>設定理由；流通拠点漁港であり、ホ</p>

	ク枝幸北漁港	タテガイの生産量が多く、輸出を行っている。 高度衛生管理(L2以上)を導入し、輸出の拡大を推進する予定である。
--	--------	--

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	53,340	圏域の登録漁船隻数(隻)	638
圏域の総漁港数	2	圏域内での輸出取扱量(トン)	11,576
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1		

⑥養殖生産拠点地域について

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	枝幸
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	ホタテガイ
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	37,708 トン
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	6,795

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

輸出促進への対応のため、流通拠点漁港で屋根付き岸壁の整備等による水産物の衛生管理、鮮度保持を図る。

また、総合的な衛生管理体制を確立させるため、関係者の衛生管理意識の向上や施設の効果的運用を図るためソフト施策を講じて行く。

生産・流通機能の強化を図るため、防波堤の整備による航路及び泊地の静穏の確保等を行う。また、岸壁等を整備し作業効率の改善を図る。

②養殖生産拠点の形成

当圏域内の各漁港において、現在養殖生産拠点の形成に係る整備予定はないが今後の状況による。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

当圏域内の各漁港において、現在環境変化に対応した漁場生産力の強化に係

る整備予定はないが今後の状況による。

②災害リスクへの対応力強化

近年の波高の変化への対応や、頻発する台風低気圧等による被害を防ぐために防波堤や護岸等を整備する。

地震などの災害時に漁港施設が利用できるよう、耐震岸壁を整備する。

老朽化が進み、更新需要が増大する漁港施設及び漁業集落排水施設について、持続可能なインフラ管理の推進のため、予防保全型の老朽化対策を行う。

事業継続計画（BCP）を策定しており、被災後の地域水産業の早期再開を推進する。

(3)「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

当圏域内の各漁港において、現在「海業」による漁村の活性化に係る整備予定はないが今後の状況による。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

当圏域内の各漁港において、現在女性など多様な担い手の活躍に係る整備予定はないが今後の状況による。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1)産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
枝幸南部	流通機能強化 輸出促進	水産流通基盤 整備事業	オホーツク枝 幸漁港	2	○
枝幸北部	流通機能強化 輸出促進	水産流通基盤 整備事業	オホーツク枝 幸北漁港	2	○

・屋根付き岸壁を整備することで衛生管理体制の向上を図り、水産物の海外輸出を促進する。

・防波堤の整備により、航路及び泊地の静穏性を改善し漁業活動の効率を改善する。

・漁船の大型化による施設の不足に対応して岸壁や用地を整備することで、漁業活動の効率化を図り生産・流通機能を強化する。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
枝幸南部	安全・安心	水産流通基盤整備事業	オホーツク枝幸漁港	2	○
枝幸北部	安全・安心	水産流通基盤整備事業	オホーツク枝幸北漁港	2	○
宗谷	予防保全	機能保全事業	オホーツク枝幸漁港	2	○
宗谷	予防保全	機能保全事業	オホーツク枝幸北	2	○

- ・漁港施設の耐震化を行い、大規模な自然災害が発生した際の漁港機能の維持・早期回復を図る。
- ・老朽化が進んだ漁港施設について、機能保全計画に基づいた補修工事を行うことで、漁業活動の安全性を確保する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

4. 環境への配慮事項

工事の実施に当たっては、環境に悪影響を与えないよう施工時期等に配慮する。

5. 水産物流通圏域図

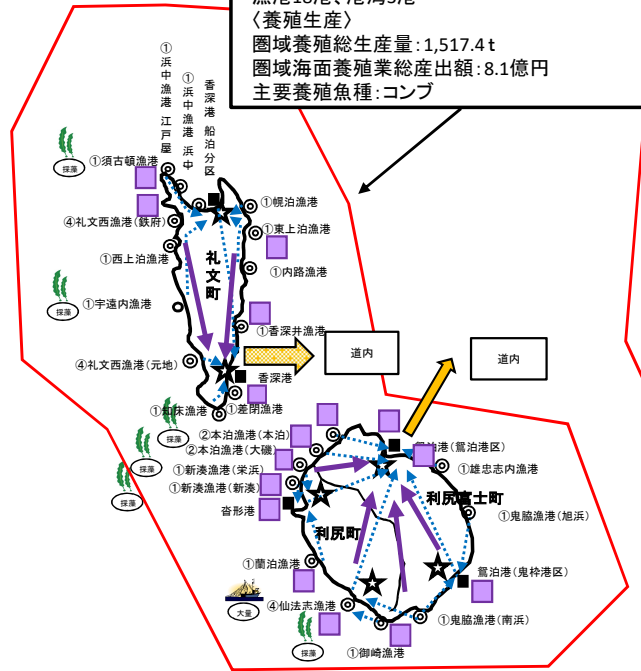
別紙のとおり

北海道 宗谷総合振興局水産物流通圏域図

利尻・礼文圏域

流通拠点(外海離島型)

圏域総陸揚量:16,570.5 t
 圏域総陸揚金額:55億円
 漁港18港、港湾3港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:1,517.4 t
 圏域海面養殖業総産出額:8.1億円
 主要養殖魚種:コンブ



宗谷北部圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:東浦漁港(第4種)
 圏域総陸揚量:53,742.8 t
 圏域総陸揚金額:151億円
 漁港8港、港湾2港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:47,149.5 t
 圏域海面養殖業総産出額:95億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

猿払圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:浜鬼志別漁港(第2種)、知来別漁港(第2種)
 圏域総陸揚量:49,827.9 t
 圏域総陸揚金額:82億円
 漁港3港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:48,370.8 t
 圏域海面養殖業総産出額:70億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

頓別圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:頓別漁港
 圏域総陸揚量:13,643.1 t
 圏域総陸揚金額:31億円
 漁港2港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:12,547.6 t
 圏域海面養殖業総産出額:19億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

枝幸圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:オホーツク枝幸漁港(第2種)、オホーツク枝幸北漁港
 圏域総陸揚量:53,340.2 t
 圏域総陸揚金額:110億円
 漁港2港、港湾1港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:37,708.0 t
 圏域海面養殖業総産出額:67億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

● : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)

◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)

○ : 一般漁港

■ : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)

☆ : 産地市場

漁業: 主な魚種

(主な漁業種が、(大船) (巻き網・底引き網等、) (小舟) (イサナ) (イサナ) (イサナ) の場合は示す)

← : 水産物集約 (漁船陸揚げ)

← : 水産物集約 (陸送)

◀ : 加工場・消費地への出荷 (主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等をしてできる限り示す。)

← : 養殖に係る水産物の流れ

◀ : 養殖漁場

50t 未満	→
50~100 t	→
100~500 t	→
500~1000 t	→
1000~5000 t	→
5000t 以上	→

